

四国遍路・鳴門海峡の 世界遺産を目指す講演会

世界遺産を目指すには、
行政や専門家の取組み以外、
地域住民の支え、盛り上げが
大きな判定要素になる。
富岡製糸場の世界遺産登録で
地域住民は何をしたのか。
講師の活動紹介より学ぶものです。



富岡製糸場の
世界遺産登録で
地域市民が果たした役割

【講師プロフィール】

NPO法人富岡製糸場を愛する会

理事長 **高橋伸二**さん

生まれも育ちも群馬県富岡市の弁護士。

27年前、「製糸場を愛する会」の勉強会を立ち上げたのがきっかけで製糸場の世界遺産化運動を大きく育てて欲しいと周囲から白羽の矢が立った。

資料や文献で製糸場の価値に確信を持ち、世界遺産登録への気運を盛り上げようと地域住民の先頭に立ち、行政等と一緒に多彩な運動を展開してきた。会員は1400名。富岡製糸場の世界文化遺産登録に貢献した立役者。



主催：NPO法人 徳島共生塾一步会

共催：NPO法人 遍路とおもてなしのネットワーク

後援：「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会

(予定) 四国霊場会阿波支部、徳島県、徳島ユネスコ協会、徳島経済同友会

5月9日(土)

受付 14:10~

講演 14:40~17:00

ろうきんホール

徳島市南末広町
県立テクノスクール内

【お問い合わせ】

090-1575-2068 (新開)

080-6397-6888 (米川)

【参加費・資料代】500円

お申し込みは裏面をご覧ください。

「世界遺産講演会」参加申込書

お書きいただいた個人情報については、当会の事業のご案内以外には、利用いたしません。

お名前(複数可)
連絡先住所
電話
団体名(あれば)

お申し込み ● FAX : 088-623-0960

● MAIL : zs100@mf.pikara.ne.jp

● 郵送 : 〒770-0804 徳島市中吉野町1-53-1

NPO法人 徳島共生塾一歩会

会場のご案内

